

通明小学校150周年事業たより

150から200周年へ、時をさきがけ、未来をつかもう

～ The power to change myself ～

「一人一人の勇気で、新しい世界の光となれ！」

第4号

令和4年7月1日

通明小学校150周年記念事業
実行委員会

実行委員長あいさつ

通明小学校150周年記念事業実行委員長
久保田 盛雄

思い出を語る会を開催 / 通明中学校跡記念碑除幕式にて / 寄付金のご協力

通明小学校昇降口の桐の葉も茂り、その木陰では元気な子供達の声が響き渡っている今日この頃です。善光寺の御開帳も無事に開催され、長野市内も賑わいが戻りつつあります。今回号からは、篠ノ井西小学校が開校前の「旧通明小学校の通学区地域」の皆様にも、「通明小学校150周年事業たより」をお知らせ致します。どうぞよろしくお願い致します。

さて、4月30日に「マンガ記念誌」の取材の一環で「思い出を語る会」を開催しました。今回は、第二次世界大戦の最中、小学生時代を過ごした9名の皆様から貴重なお話を聞くことができました。大変つらい体験を語っていただきましたが、そんな時代の中でも子供らしいエピソードのお話もあり、たくましく生きる当時の子供達の様子を知ることができました。

また、5月8日の「通明中学校跡記念碑の除幕式」終了後に、150周年事業の説明をする時間を頂戴しました。荻原 長野市長も駆けつけ盛大な式典でしたが、なかでも参集された皆様が歌う「通明中学の校歌」は、70年の時間を超えて当時の子供達の姿を見るようで、とても感動的な場面でした。皆さんからパワーを頂き、「150年の庭」で“在校児童と地域の皆さんと一緒に「通明小学校 校歌」を歌う！”という新しい目標ができました。

いよいよ記念事業に対する寄付金のお願いを7月1日より開始いたします。大勢の皆様のご理解とご協力を頂きながら、子供達の教育環境の更なる充実と地域と学校の絆がより深まる記念事業を実現したいと考えています。ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

KIRI(きり) REN(れん) TUMUGI(つむぎ) 物語の主人公3名を発表！

150周年事業のキャラクターを発表

「マンガ記念誌」制作監督の 宮尾佳和 さんより、主人公3名のイメージ画が発表されました。

謎の少女「KIRIちゃん」に誘われて、「RENくん」と「TUMUGIちゃん」が時空を超えて学校の歴史をたどる旅に出ます。どんな時代に旅をして、どんな人たちに出会うのか？「マンガ記念誌」の発刊をどうぞ皆様、楽しみにお待ちください。



よろしくお願いします



皆様の「在校時の思い出」である当時の写真やアルバム、録音テープ、記念品など貴重な資料のご提供をお願いいたします。詳細は最終ページの事務局までお問合せください。

マンガ記念誌の制作に向けて、戦前・戦後の貴重な学校生活のお話をお伺いしました。

今回の150周年記念誌には、過去から未来、100周年から200周年への中継地として位置付けて、時代ごとの通明小学校の様子を忠実に後世に引き継ぎたいと考えています。

このため、学校生活の「思い出を語る会」を開催させていただき記憶を記録にしました。

今回は、激動の戦中・戦後の時代に在校された先輩方9名の皆様から、当時の様子を楽しくそして、つらい経験の思い出を伺いました。ここでは、皆様のお話の一部をご紹介します。



上段 左から：久保田実行委員長、宮入正純 様、宇都宮正一 様、棚田渉 様、須坂恒雄 様、酒井部長

下段 左から：高野校長先生、高澤通泰 様、宮尾佳和 様、渡邊一正 様、中嶋君忠 様、望月淑子 様、村田美津子 様

昭和19年度 通明国民学校卒業 須坂 恒雄 先輩

昭和16年 3年生の時、篠ノ井通明国民学校となり、男女が別のクラスに変更となった。

戦時体制になり、在校児童も「耐え忍ぶ」、「兵隊さんがんばっているから生徒もがんばれ」という時代になり、講堂正面「忠孝」の額に示された「国に忠義を尽くせ」、「親に孝行を尽くせ」と年間を通じて教えられていた。

昭和22年度 通明小学校卒業 村田 美津子 先輩

昭和16年に国民学校の1期生として入学した。その年の12月に真珠湾攻撃があり、太平洋戦争が勃発した。先輩に連れられ布施神社に戦勝祈願に行かされたことを記憶している。

3学年の勤労奉仕で学校林に行き、冬の暖房に使用する薪を切り出し、重い薪を背負い帰った。

戦後、教科書の黒塗りを鮮明に覚えている。

昭和22年度 通明小学校卒業 望月 淑子 先輩

昭和20年 4年生の時、母の実家の西寺尾に疎開した。

戦後、5年生の時に通明小学校へ転校したが、疎開児童が多く、1クラス男女共学で63名が在席していた。

夏の体育の授業は楽しかった。学校にはプールがないので、暑い日、千曲川まで歩き遠かった。男性は裸に猿股で、女性はシミーズにブルマーを着用して、千曲川で水泳をしていた。

昭和26年度 通明小学校卒業
宇都宮 正一 先輩

孫に言うと笑われてしまうが、
6年間一度も休まず、皆勤賞
の表彰をもらった。

当時、我が家には自転車があり、親が使用する大きな自転車を時々借用して、三角乗りにより出掛けていたことが思い出される。

周年記念の事業計画とご寄付のお願い

150周年記念事業の事業概要が決定 / 7月1日よりご寄付のお願いをスタート

同窓会HP
QRコード



150周年事業の事業概要が以下の通り確定し、7月1日よりご寄付のお願いを開始いたしました。大勢の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。



- one 記念式典・記念企画の開催
- two 150年の庭の造園整備
- three マンガ記念誌の制作・発刊
- four タイムカプセルの開封
- five 同窓会HPの管理維持
- six 学校教育向上活動の補助等

学校と篠ノ井地区が一体となって盛り上がる 記念式典、創立150周年の祝祭イベント等を企画・実施します。

正門前の自然観察園を「150年の庭」に改修・造園します。学校と地域の交流拠点として整備します。

児童にも学校の歴史がわかりやすく理解できる「マンガ記念誌」を制作します。

創立130周年記念事業のタイムカプセルを、当時の先生や児童の皆さんと開封します。

学校の歴史を記録し、同窓会の活動や150周年事業の情報を発信します。

学校の教育向上に繋がる活動を支援します。

目標金額 10,000,000円

寄付金額 1口 10,000円から（それ以下でも有難く頂きます）

寄付の特典
10,000円以上のご寄付をされた方
・ 通明小学校の歴史を綴った「マンガ記念誌」を贈呈します（令和5年夏頃）
・ 150年の庭に設置する銘板に御芳名を掲載します。

寄付期間 令和4年7月1日から令和4年12月31日までの期間

寄付方法

各ご家庭にご送付させていただきました「ご寄付のお願い」に添付されております「払込取扱票」に必要事項を明記の上、郵便局よりお手続きください。
各銀行等（八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、長野信用金庫、JAグリーン長野）からご寄付を希望される方は、「ご寄付のお願い」又は「同窓会ホームページ」（<https://www.tsumeisho-dousoukai.jp>）にて詳細をご確認ください。

ス タ ッ フ
急 募 ！

2003年（平成15年）の創立130周年事業で、在校児童が20年後に思いを託し埋設したタイムカプセルを発掘し、思い出をお届けする開封式を開催します。平成3年度から8年度に生まれた当時在校児童の皆様の運営スタッフを募集します。お申込み、お問い合わせは下記事務局までご連絡ください。

編集後記

通明小学校 開校150周年のスタートとなる 令和5年4月1日 まで1年を切りました。篠ノ井地区の大勢の皆様からお祝いされ、200周年事業の年まで永く語り継がれる事業となるように取り組んでまいります。どうぞ皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局 桑原義敬 ☎090-7631-6139 、 ✉ts150jimu@gmail.com

お詫び（訂正）

本年4月1日に発行した委員会たより（第3号）の2ページ「学校の歩み」で、“1941年（昭和16年）篠ノ井通明国民学校の発足”が欠落しておりました。お詫びして訂正いたします。